

# チャペル週報

しかし、あなたたちは勇気を出しなさい。  
落胆してはならない。  
あなたたちの行いには、必ず報いがある。

(歴代誌下15:7)



2010.6.7~6.11 No.9  
関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

6月7日(月) 神 戸 田 真(神4)  
経 日本・トルコ学生交流プログラム報告  
人 献血週間を覚えて 宗教総部献血実行委員会  
短大 聖書物語

---

6月8日(火) 神 土 井 健 司(神学部教授)  
文 永 田 雄次郎 (文学部教授)  
社 出合い⑤ 今 井 信 雄(社会学部准教授)  
法 特定非営利活動法人かめのすけ  
商 大 貫 隆 史(商学部准教授)  
国 献血実行委員会  
教 井 上 久 夫(教育学部教授)  
総 宗教総部献血実行委員会

---

6月9日(水) 神 山 田 香 里(神学部専任講師)  
社 出合い⑥ 打 樋 啓 史(宗教主事)  
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
経 経済と人間④ 井 上 琢 智(経済学部教授)  
商 「世界市民ランバスの背中」平 松 一 夫(商学部教授)  
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
教 田 淵 結(宗教主事)  
理 「生と死を見つめて」映像による礼拝  
総 鈴 木 實(総合政策学部教授)

---

6月10日(木) 神 キリスト教音楽に触れよう2 水 野 隆 一(神学部教授)  
文 献血週間実行委員によるチャペル  
社 春の人権チャペル 金 明 秀(社会学部教授)  
法 特定非営利活動法人かめのすけ  
商 嶋 村 誠(商学部准教授)  
国 English Chapel Eun Ja Lee(宣教師)  
総 李 政 元(総合政策学部准教授)  
短大 ベンテコステ礼拝 川 上 盾(日本基督教団東神戸教会牧師)

---

6月11日(金) 院 服 部 多 朗(神学部院生)  
神 浅 野 淳 博(神学部准教授)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)  
経 音楽チャペル Timothy Dale Boyle(宣教師)  
人 木 原 桂 二(元宝塚バプテスト教会牧師)  
教 久 洋 子(教育学部准教授)  
理 「年輪」松 木 真 一(宗教主事)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

6月11日(金) 聖和幼稚園のために 出 原 大

◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～ 於:宗教主事室

---

# 宗教と科学

今 岡 進

宗教と科学に関する著名な出来事として、16世紀に起こった天動説から地動説への転換がある。地動説を最初に唱えたコペルニクスはカトリック教会の司祭であったが、その後この説を実験的に証明したガリレオは、宗教と科学の狭間で揺れ動いた。これは、宗教が政治と密接な関係を持っていたことにも由来するが、当時としては「コペルニクスの転回」という言葉が現在でも使われるぐらい大きな変革であった。私が専門とする生化学の分野では、19世紀初頭に、それまで生命体内でしか作れないとされた尿素をヴェーラーが人工的に合成した事が大きな変革に繋がっている。現在では、細胞の中で起こっている反応はすべて化学反応であり、それぞれの反応は試験管の中で人工的に起こすことができる。しかし、現在まだ細胞（或いは生命体）自身は人間の手で作りに出すことはできない。生命体において、細胞中での化学反応が合理的かつ緻密に組み合わせられてきている事実を目の当たりにすると、そこに神の業を感じずにはおれない。

未知のものに対する畏敬の念から生まれるのが宗教であり、それを説き明かすのが科学であると思う。例えば宗教で言う「隣人愛」は、生化学的に言えば人間の違いはたかだか数百個に1個の塩基の違いであるが、それはまた多くの多様性を生む原因であり、お互いの多様性を認め合うことであると言える。一方、科学そのものは真理の探究であり、そこに宗教観や倫理観はない。しかし、その研究の進め方や得られた新しい知見や技術の利用は宗教観や倫理観のもとに行われなければならない。例えば、生き物を使用する実験では、無駄に命を奪ったり苦痛をできるだけ与えないような実験をしなければならない。また、核物理学の知識は、一方では原子力発電のようにエコなエネルギーともなるが核兵器ともなるし、バイオテクノロジーの知識はワクチン開発、一方では細菌兵器ともなりうる。本来宗教は「諸行無常」すなわち生命が誕生して消えていく中で人がいかに生命を尊重し、さらにどのように生きていくかについて導くものである。しかし、最近の科学では生命のみならず、この地球さらには宇宙全体が生まれ、そして消えていく運命にあることが明らかになっている。宗教は、生命のみならず例えば地球環境などのもっと大きな生き物に対しても、将来を導く必要があるのかもしれない。最後に、宗教と科学は相対するものではなく、時代と共に一緒に発展していく必要があると考えている。

(理工学部教授・学部長)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、学生音楽団体による恒例のミニコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月14日(月) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice

6月15日(火) 関西学院ハンドベルクワイア

いずれも12時50分から13時20分まで、ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて。

●夏の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、夏の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：6月14日(月)～18日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

6月11日(金) 樋口 進 (宗教センター宗教主事)

6月18日(金) 田淵 結 (宗教総主事)

6月25日(金) アンドレアス・ルスターホルツ (文学部宗教主事)

●ランバスチャペルアワーのお知らせ

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。

と き：2010年6月29日(火) 10:35～11:05

と ころ：西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いる形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

6月13日(日)、27日(日) 午前10時～11時

関西学院会館ベーツチャペル

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。